

2025年4月7日

メーカーでも脱・配属ガチャを！配属マッチングを今年度も実施

エナジーウィズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:吉田誠人)は、今年度 17 人の新入社員を迎え入れました。新入社員が希望通りの配属となるとは限らない、いわゆる「配属ガチャ」を改善するため、当社では昨年度から新入社員への配属マッチング制度を導入。新入社員と、社員を入れたい部署どちらもが「この部署に配属されたい」、「この社員に来てほしい」とマッチした部署に配属される仕組みを作っています。

【内定式から配属までの流れ（2025年入社の場合）】

2024年10月	内定式で新入社員募集の 12 部門が配属コンペ
10月中	内定者が希望調査を提出 (第 1 希望～第 5 希望とその理由など記入) 部門に学生の情報共有 希望を募る
11 月頃	マッチング会議
2025年2月	配属先を通知
4月	入社 2週間東京で研修 3週目から配属先での業務開始



今年の入社式の様子(4/1)

旧来のメーカーでは、新入社員は入社後、モノづくり研修を数か月行った後に配属発表され、志していた製品の開発・製造などに携われない例も多くありました。こうした入社前後のギャップを改善するため、当社では内定者が早い段階で各部署の魅力を知り、ミスマッチを防ぐ配属マッチングに取り組んでいます。

内定式では、新入社員を求める部門の担当者たちが学生の前で本気のコンペを行い、内定者に各部署の魅力を感じてもらうことで希望が特定の部門にのみ集中することを防ぎます。希望調査では学生に希望部署やその理由、これまでの経験から活かせることなどを書いてもらい、それを踏まえて部門の希望も調査。内定者と部門の希望がマッチングした部署に配属されるよう設定しています。配属通知を2月に行うことで入社前の不安をできるだけ取り除き、4月からは同期と交流をもちつつ、いち早く配属先での業務に慣れてもらうことができます。

昨年度は大卒5名の新入社員に対してマッチングを実施。実際にこの仕組みで配属された社員からは、「社会人になることへの緊張感はあるものの、希望の配属先で仕事のイメージが持てたので安心して働き始められた」、「配属先から受け入れられている雰囲気があり、安心できた」などの声をもらっています。

今年度の対象者は大卒8名で、現在は東京で研修を行っています。

社員へのインタビューなどご希望がございましたら調整させていただきます。

エナジーウィズ株式会社は 2021 年 12 月、昭和電工マテリアルズ株式会社（現株式会社レゾナック）の蓄電デバイス・システム事業部門を前身に蓄電池専門メーカーとして事業を開始しました。

当社はこれまで 100 年以上にわたり鉛蓄電池技術を用いて自動車用バッテリー、産業用鉛蓄電池を製造・販売。また鉛蓄電池に限らず、蓄電池の状態を検知する監視装置、緊急時に蓄電池から電力を供給する電源システムなどもラインナップとして事業を展開。今後は蓄電池専門メーカーから「提案型蓄電ソリューション企業」への進化を目指しています。

<https://www.energy-with.com/>

リリースに関するお問合せ

エナジーウィズ株式会社

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町 3 AKS ビル 問い合わせ先: pr@energy-with.com